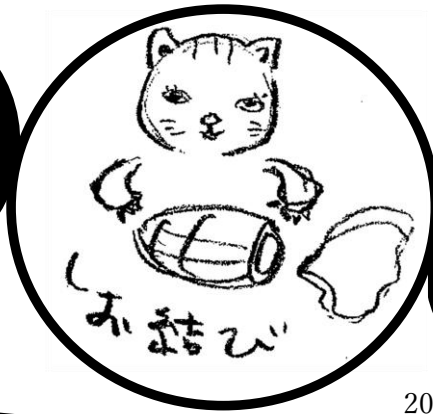


第64回
全国
保育問題
研究集会

石川集会
実行委員会
ニュース



No.
5

2025年3月発行

北埼玉保問研から石川への熱い思いが届きました。

10年前の石川集会の歓迎行事で、迫力のある御陣乗太鼓を見て由来を聞き、感動し、その後北埼玉にもお呼びしました。

「攻められたらやり返す」のではない平和的な解決を考え出した先人の知恵は子どもたちに伝えていきたい文化です。

そして、今年、震災後たいへんな被害を受けた御陣乗太鼓がなん



とか復活したというニュースを受け、2月に深谷市の保育園のホールにお呼びし、約350人の4、5歳児が集まりました。はじめに由来を「敵がせめてきた夜、木の皮のお面や海藻などを髪の毛のようにし、太鼓を打ち鳴らし戦わずして皆を守った太鼓」と聞いてから始まった激しい太鼓に子どもたちはくぎ付けになり、大人も息をのんで見つめました。終わってから、ほとんどのメンバーの自宅が壊れたこと、若いメンバーが金沢等に避難したため、存続が危ぶまれると話して下さいましたが、この素晴らしい芸能が、これからも永く続くように願っています。北埼玉保問研より



金沢海みらい図書館



石川県立図書館

よっしーの金沢・石川つばやき旅行記

写真は石川観光連盟より

今回は図書館を紹介します。

金沢市には図書館がいくつかあります。その中で建築物として目を引くのが、**金沢海みらい図書館**です。外壁にたくさんの丸窓がいっぱいあり、訪れたとき、『これが図書館???』と目を疑いました。中に入ってみると光がいっぱいさして、心がパッと明るくなる感じの場所でした。

石川県の中でよくメディアで紹介される図書館は下の写真にある円形型の閲覧空間ですね。これは**石川県立図書館**です。この図書館も是非行ってみたいと思っているのですが、今のところ行けていないのが心残りなのです。石川集会のどこかの合間に行けたら最高だなと考えています。

今回、この素敵な図書館を紹介したくて、この記事を書いているのですが、書くに当たってちょっと調べたら、金沢市立の図書館が4つあり、県立の図書館もあり、その充実ぶりに驚きました。すごいですね。

※次のページは記念講演の案内です。今回の集会チラシとしてご利用いただくと幸いです。



第64回全国保間研石川集会 × 脚本家 吉田恵里香

『虎に翼』『恋せぬふたり』『花のち晴れ』

一人ひとりが対等平等な社会の

実現の為に今、考えたいこと



「語ることを信じる」

脚本家の思いとは

2025年、石川集会の記念講演は吉田恵里香さん。『虎に翼』『恋せぬふたり』など、数々の人気ドラマの脚本を手掛けていらつしやいます。大変お忙しい中、記念講演の撮影に快くご協力下さいました。

いまの社会に届く作品を次々に創り出す吉田さんが、世の中をどんなふうに見つめているのか。社会の課題を「対話」によって変えていこうとする、吉田作品のパワフルな魅力に迫る記念講演です。

「語り合うこと」の力

人間それぞれの思いは、声に出さねば伝わらない。しかし、どんなに言葉を尽くしたって理解し合えるばかりじゃない。思いのすべてを言葉にできるわけではない。すれ違うこともある。だからこそ、相手にどうやって伝えるか。相手の言葉をどういう態度で聞けばいいのか。

言葉を紡ぐプロの吉田さんが、作品作りにおいても、様々な場面で他者と関わる中でも、心がけていることを伺いました。

「多様性」とは？

最近よく使われるようになった「多様性」という言葉。そもそも、この社会はなぜこんなにも大きく「多様性」という言葉を取り上げなくてはならないのか。

わたしたちは他者と関係を築くとき、相手の様々な側面とくに多数派ではない部分について「理解してあげる」「尊重してもらおう」という上から目線の関係を、知らず知らずのうちに構築してしまつてはいないだろうか。吉田さんの考える本当の「多様性」について、語っていただきました。

記念講演撮影を経て...

言葉で伝え合うことを避けがちな社会のなかで、吉田さんの紡ぐ物語の登場人物たちが対話をあきらめずに生きていく姿勢は、我々に強く響きます。

吉田さんのお話を直接伺い、吉田作品の魅力の根にあるものを感じた東京保間研の記念講演担当一同です。言葉で語り合うことの力を信じる吉田さんの思いは、わたしたちの保育にも生きていくことでしよう。石川の地とともに吉田さんの言葉を受け止め、語り合いましょ！

-Profile-

よしだ えりか
吉田恵里香さん 脚本家、小説家

神奈川県出身。日本大学高校・中学校から日大芸術学部に進む。テレビドラマ「虎に翼」「花のち晴れ～花男 Next Season～」映画「ヒロイン失格」「センセイ君主」テレビアニメ「ぼっち・ざ・ろっく！」「TIGER&BUNNY」など、テレビドラマなどに限らず、脚本の世界で幅広く活躍している。